

頑張ってます!
同窓生紹介

「第二の人生を人助けに賭ける」

昭和二十九年卒業 御子柴 智 義 さん

御子柴さんは、野村證券(株)とその子会社に勤務し、退職後、同社在職中の知人からの要請で、第二の人生を人助けに賭けようとして決意し、社会福祉法人「湘南アフタケア協会」の理事長に就任。横須賀で内部障害者・肢体障害者の自立・機能回復訓練の促進と援助に力を注いでいる。

御子柴さんは岡谷市東堀の和菓子屋さんの家に生まれたため、家業を継ぐべく本校商業科に進学した。



高校時代、弁天町の旧校舎で英語の藤森先生、数学の山岡先生・社会の松山先生・古文の波岡先生などの授業を熱心に受けたこと、放課後庭球部(ソフトテニス部)で楽しく過ごしたことなどが忘れられないとのこと。御子柴さんは家業を継ぐべく商業の勉強をしてきたが、卒業の直前、家業の和菓子店が廃業となったため、急遽家を出る決心をし、昭和二十九年本校卒業後、東京の野村證券(株)本店に就職した。在職中働きながら早稲田大学

政経学部に通学し昭和三十四年卒業。その後上野支店営業課長、浜松町支店長、川越支店、大阪支店次長を務めた。昭和六十二年野村アセットマネジメント(株)に移籍し、投資顧問・取締役・監査役等を歴任、平成八年退職した。退職後、かつて浜松町支店在職中に知り合ったある経営者から「残りの人生は人助けをしてみませんか」と誘われ、平成十二年から社会福祉法人「湘南アフタケア協会」の理事長に就任した。同協会は「呼吸器などの内部障害のある人、肢体に障害のある人の自立・社会参加の促進・援助を目的」としており、約三千坪の敷地、九棟の施設で医療や機能回復訓練等を行なっており、約百二十人を取容、約七十

人の従業員で運営している。なお、この施設は国有地(旧海軍の施設)の貸付によるもので、運営資金は障害者自立支援法による支援費で賄われ、収入の少ない人には市から補助がある。更生訓練は、歩行・陶芸・情報・手芸・軽作業などを行なっており、そのほか毎月レクリエーションや誕生会なども催している。御子柴さんは、創始者の川崎満治さんから「福祉の心は和の心、和の心は人間の持つ本能であり、それがなければ闘争を生み、怠惰を生む」と教えられ、従業員・入所者・関係機関・業者や地域の人たちと「和の心」で接するよう心掛けていっている。

現住所は埼玉県所沢市。奥様とお子様二人、趣味は山登り、旅行、音楽鑑賞、ゴルフだが、現在横須賀ロータリークラブの会長の仕事などもあり忙しいとのこと。

頑張ってます!
同窓生紹介

「富士見太鼓と音楽に感謝の人生」

昭和四十年卒業 永井 秀 直 さん

永井さんは本校卒業後、東京で栄養士の資格を取得し、富士見町で食堂を経営するかわら、「富士見太鼓」を創設。また、「歌声喫茶」や「オカリナ」などの仲間も出来、音楽に感謝しながら暮らしているという。なお、永井さんには本年度東京支部総会のアトラクションに「富士見太鼓」を演奏していただいた。

永井さんは、昭和四十年本校を卒業後、東京栄養食糧学校へ入学。二年後、栄養士の資格を取得して帰郷し、富士見町で家業の食堂を継いだ。



当時は高度成長期でもあり、数名の従業員で店は大繁盛で、繁忙の毎日であったという。その頃、駅前商店の店主や奥様あるいはその後継者の殆んどが諏訪実の出身者だったが、近年は、富士見駅前の店舗数も半減するなか、「女房と二人でゆったりと営業している」とのこと。永井さんの趣味は音楽で、特に打楽器に興味を持っていました。そんな折、昭和五十一年の秋、中学の同級生と話し合い、和太鼓をやってみようと言うことになり、若い自営業者たちに呼びか

け、十名の仲間が集まった。最初は使い古しの醤油樽に向っていたが、翌年春には資金を出し合って念願の太鼓を購入。週二回の練習も一段と気合が入ったという。

想い出のステージは、昭和五十四年NHKホールでの「全国勤労青少年の集い」でのオーブニング演奏、昭和五十三年から十回におよぶ川崎市民祭での演奏、昭和六十一年に富士見太鼓結成十年目に町商工会青年部と協力して富士見太鼓を中心に据えた「富士見OKKOH」という祭りを立ち上げ、その実行委員長を務めさせて貰った。「富士見OKKOH」は現在町民祭として次回で三十周年を迎える。

「音楽を中心とした趣味は、楽しみながら人生を豊かにしてくれている」と実感し、感謝をしているとのこと。



定時制だより

定時制職員 村上 正彦 先生

駒ヶ根へのバス遠足

七月十二日、あいにくの雨の中、定時制の全校生徒と職員は今年も学校行事としてのバス遠足に出発した。最初は駒ヶ根の光前寺。緑美しい参道を経て本堂でお参り。参道脇の石垣の中のヒカリゴケを見つけた生徒たちは歓声を上げていた。

次の見学地は「養命酒駒ヶ根工場」。工場見学の後、上伊那の見晴らしファームでは食をとり、和・洋・中華の、いろいろなバイキング料理を味わった。

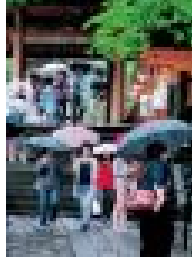
午後は、おやき作り・草木染め・ブルーベリー狩りなどの「体験工場」。

その後、全員参加のマレットゴルフの予定は雨のため中止したため帰校は予定より早く、午後三時頃となったが、生徒は満足の様子だった。

県内高校の定時制・通信制で学ぶ生徒の生活体験発表大会が十月十三日下諏訪文化センターで開かれ、本校定時制四年の松本ミツエさんが最優秀賞に選ばれ、全国大会に出場する。

松本さんはブラジル国籍で、子どもが三人おり、小学校で外国人児童向けの通訳の仕事しながら本校定時制へ通い、卒業を間近にしている。

松本さんは、以前ヘルパーとして働いた経験や子ども達と接したことで、定時制で自分が生徒



昨年度卒業生の多岐目一級取得者表彰

全国商業高等学校協会主催で、珠算・電卓・簿記・ワープロ・プログラミング・ビジネス情報・商業経済・会計実務・英語の九種目の検定を年一回実施している。昨年度は、商業科・会計情報科卒業生のうち一名が六種目で一級を取得、二十五名が三種目以上で一級を取得した。

また、服飾科卒業生のうち二名が三種目、六名が二種目で一級を取得し、それぞれに表彰状と記念品が授与された。



同窓会長、学校長の交替があり新体制のもと活動が始まりました。今年も同窓生の皆様・在校生の皆さんそれぞれの活躍・活動がニュースとなって報道されて居ります。その中であって、長野県定時制通信制生徒生活体

事務局だより

原下において、公立高校の同窓生名簿を使用したと認められる振込詐欺が断続的に発生しています。不審な電話を受けたときは、最寄の警察署へ通報していただくようお願いいたします。

同級会や同年会を開催する場合は、本会より通信費の補助をしております。詳細については事務局までお問い合わせ下さい。会の様子などの写真と原簿を頂ければ、紙面の許す限り、この同窓会報に掲載させていただきます。

「同窓生紹介」のコナーに同窓生を募集しております。事務局までご紹介ください。同窓会報の購読は、終身会費五千円で毎年郵送されます。詳細は事務局までお問い合わせ下さい。

編集後記
同窓会長、学校長の交替があり新体制のもと活動が始まりました。今年も同窓生の皆様・在校生の皆さんそれぞれの活躍・活動がニュースとなって報道されて居ります。その中であって、長野県定時制通信制生徒生活体